

授業改善等に関する報告書（2022年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

【2022（後期）美学美術史学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
グローバル・アートスタディズ e	横山 奈那	本授業は、受講者の皆さんの発表、予習、積極的な発言と意見交換によって、充実したものになりました。この経験が、今後、英語で長文を読む際に役立つよう願っています。
デザイン実習 b	下山 肇	意図されず、偶然生まれたものに価値を見出し他者に伝達するするという、今までとは違ったアプローチのものづくりはとても戸惑ったことと思うが、アンケートから「価値を見出す力が身についた」や「視点や想像力が豊かになった」「新しい視点を知ることができた」など、授業意図が十分に伝わったようである。
デザイン実習 c	下山 肇	「他者のためにつくる」という今までに経験したことのないものづくりのアプローチに戸惑いも多かったと思うが、「自分がどう動けばいいのか、どう物事を見たらいいのか、発見する力や今までとの考え方が変わった」や、「自分の好みではなく、相手の事を考えながら制作することができた」など、自己表現とは違うデザインすることの本質が伝わったと思う。一方でメインツールであるコンピュータソフトの使用によって、個人個人の進捗に顕著な差が現れることがあったので、今後改善していく。
デザイン入門 b	下山 肇	アンケートの記述から、資格科目に必要なデザインについての基礎的な内容は修得できたようである。また「社会に出てから必要な知識を身につけられた」や「社会的な分野にも視野が広がられる機会が得られた」など表層的な技術だけでなく、デザイン本来の持つ意味や力についても伝わったようである。
絵画実習 b	織田 涼子	おおむね平均的な評価で安心しました。各回の進行のスピードは平均よりは低い評価でしたが、短い制作時間の中で、さまざまな体験を通して、自身の成長を実感できたようで良かったと思います。
絵画実習 c	織田 涼子	実際に材料や専門的な用具を使い制作することで、表現形式や技法への理解を深めることができ良かったと思います。総合的な授業満足度は良く、安心しました。今後は、予習に関して提示方法を検討したいと思います。
絵画入門 b	織田 涼子	総合的な授業の満足度も高く、ほとんどの項目で良い評価を得ることができ安心しました。絵画の技法や道具の扱い方について理解を深め、自身の成長を実感することに繋がったようで良かったと思います。
絵画入門 b	織田 涼子	デッサンや水彩の表現方法に理解を深め、各表現に適した用具の使い方を身につけることができ、素晴らしいと思います。板書や配布資料に関しては良い評価がある一方、説明は聞き取りづらいとの指摘がありましたので、実習内容が理解しやすいよう、実演による説明を改善いたします。
西洋近代美術史演習 b	六人部 昭典	アンケートのことを伝えるのが遅く（ごめん）、回答数はやや少なくなりました。対面授業の印象では、みんな熱心だったと思います。動機を大切に、良い卒論を書いてください。
西洋近代美術史特講 b	六人部 昭典	定期試験の折にアンケートを伝えましたが、実施期間が終了していたので（ごめん）、回答数は少なくなりました。不慣れなオンデマンド授業でしたが、試験の解答内容などから考えると、みんな熱心だったと思います。3年の「演習」を経て、自分らしい卒論を書いてください。
西洋近代美術史入門 b	六人部 昭典	定期試験の折にアンケートを伝えましたが、実施期間が終了していたので（ごめん）、回答数は少なくなりました。授業の進行が少し早かったようですが、対面授業の印象では、みんな熱心だったと思います。「入門」で身につけた力を基礎に、2年次以降の勉強に励んでください。
西洋美術史演習 b	駒田 亜紀子	コロナのもとでいろいろと制約が多いなかでも、課題や美術館見学など、意欲的に取り組んでおられた様子がわかります。来年の卒論ゼミでは授業で学んだことをそれぞれ生かして頑張ってください。
西洋美術史特講 b	駒田 亜紀子	今期の授業は作品画像が細かく、リモート授業では皆さんにご苦労が多かったことと思います。そうした中でも、いろいろな作品に興味をもって主体的に授業に取り組んでくださった学生さんが多くおられたことは、私にとっても大いに励みになりました。これからもいろいろな作品との出会いを大切に、成長の糧としてください。
西洋美術史入門 b	駒田 亜紀子	後期の授業は皆さんがよく知っている作品がより多く出てきますので、それぞれこれまで知っていたことと授業で新たに学んだことを合わせて、新たな発見があったことと思います。これからも授業で学んだことと自分で発見したことを大切にしながらさらなる成長を目指してください。
卒論ゼミ b	宮崎 法子	卒業式にみんなが待っていてくれて嬉しかったです。みんな卒論頑張りました。それぞれの将来に向けて、元気にしっかり歩みを進めて下さい。

【2022（後期）美学美術史学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
卒論ゼミ b	駒田 亜紀子	コロナに翻弄された大学生活の中でも、本当に努力されて、それぞれ着実に成長の成果を手にしてこられました。これからの人生では本学で学んだことを糧に、さらに飛躍されることを心よりお祈りいたします。
卒論ゼミ b	児島 薫	みなさん、よく卒論に取り組んで自分の力で上げることができました。面談の度に書いてきたところを提出するというでペースを作れた人は無理なくゴールできました。途中で少し止まってしまった人も最後まで諦めることなく良い内容でしっかり上げることができました。自分の力を信じてこれからも社会人として前に進んでください。
卒論ゼミ b	椎原 伸博	卒業論文作成ご苦労様です。最後までペースがつかめなかった学生さんもありましたが、無事卒業出来て何よりです。
卒論ゼミ b	馬淵 美帆	就活などで忙しい中だったと思いますが、受講者の皆さんは意欲的に取り組んでくれたと感じています。時間が限られている中で最後まで卒論を執筆、改善する作業を続け、完成できたことは素晴らしいです。
卒論ゼミ b	武笠 朗	回答者1名のみで何ともコメントしようがないが、ほどよい人数で、いつもより良い指導ができたように思われる。ただ、もう1、2回は個人指導の回数を増やし、より細かな論文指導ができれば良かったと感じている。みなさんご卒業おめでとう。
卒論ゼミ b	六人部 昭典	アンケートのことを伝えるのが遅く（ごめん）、回答数はやや少なくなりました。それぞれの動機を大切に、良い卒論が書けたように思いました（「コメント欄」にも、その旨の記述が見られます）。自信をもって、社会で、あるいは大学院で、さらに成長してください。
中国美術史演習 b	宮崎 法子	みなさん、中国美術史の演習をとってくださりありがとうございます。私も大学を離れてしましますが、みなさんが楽しく幸せな学生生活を送って、卒論を書き、無事に卒業していくことを祈っています。それに演習で学んだことが少しでも役にたつたらとても嬉しく思います。中国の卒論ゼミを選んでくれた3人は、新しい先生のもとでしっかり卒論に取り組み、就活もして下さい。みなさん元気で！
中国美術史特講 b	宮崎 法子	中国美術史特講を取ってくださりありがとうございます！中国美術は難しかったかもしれませんが、みなさんが少しでも楽しむことができたなら、嬉しく思います！演習でも中国を選んでくれた学生さんは、新しい先生について楽しく学んでいって下さい。また、展覧会か、どこかでお目にかかることがあったら、声をかけてください！元気で楽しく充実した学生生活を送って下さい。
中国美術史入門 b	宮崎 法子	みなさん、中国美術史入門bの授業を受けてくださりありがとうございます。私はこれで大学での教員生活も終わりますので、最後の授業となりました。初めて見る絵や話だったと思います。特にオンデマンドの設定だったこともあって、わかりにくいことも多く、興味が持てない人も多かったかもしれませんが、アンケートを見ると興味を持ってくれた人が少しでもいてくれたようで嬉しかったです。また、成績については、定期試験の平均点は75点くらいでしたが、平常点を足すと多くの人の点数が下がってしまいましたので、その場合はシラバスよりも平常点の比率を少なくして成績をつけました。最高点は100点、最低点は17点でした。来年受けるひとは、非常勤の先生になりますので、気分を新たに頑張ってください。みなさんお元気で、学生生活を楽しんでください。
日本近代美術史演習 b	児島 薫	アンケートの呼びかけを忘れたためか、回答が少なくなりました。マスクをしていたこともあり、教室が大きくなかったので少し声を張り上げなかったことで聞き取りにくかったようですが、manabaでもよいので途中で教えてくださるとありがたかったです。
日本近代美術史入門 b	児島 薫	アンケートの記入を呼びかけ忘れてしまったため、回答数が少なくなりました。多くの作家名、作品名、授業で初めて聞いたり見たりしたと思いますが、よく覚えてくれました。戦後の作家さんの場合、著作権の関係で美術館の所蔵品検索で画像が出てこないことが多いので、図書館を活用しましょう。
日本美術史演習 b	馬淵 美帆	授業アンケートの回答率は低かったのですが、その範囲では、受講者の方におおむね満足していただけたようで良かったです。自分で発表を組み立てて行うことや、他の人の発表にコメントすることは社会に出てからも役立つ重要なスキルですので、今後も意識的に取り組んでいって下さい。
日本美術史特講 b	馬淵 美帆	オンデマンドの授業で受講しにくい点もあったかと思いますが、毎回の課題など、受講者の皆さんはとてもよく書いて下さっていたと感じます。受講上の希望や質問をすぐに受けにくく、不満を感じた方もおられたことと思います。皆さんからいただいた回答を元に、今後のオンデマンド授業の方法を工夫していきます。

【2022（後期）美学美術史学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
日本美術史入門 b	馬淵 美帆	入門bの授業は情報量も多く、大変に感じた方もいたことと思います。この授業の内容は、入門aと同様、今後美術史を学ぶ上での基礎となるので、資料を見返したり図書館の本で復習するなどを積極的に行っていただきたいと思っています。 授業中は、この授業に限らず、自主的にメモを取ることを心掛けて下さい。
入門演習	串田 紀代美	本授業に対し、みなさんが真剣に取り組んでくださったことが、アンケートのコメントからよく理解できました。「レポートの書き方で気を付けるべき点が理解できた」、「レポートの書き方を全く知らなかったが、授業を通して基本的な書き方を学ぶことができた」、「今後の授業にも役立つものとなった」、「引用や脚注の方法がわかった」、「レポートを自分で書いてみると作法を間違えてばかりだった」などの、さまざまな気づきを得たことが、教員にとっては一番嬉しく励みになります。 この授業を通して、文章を書くことに対して苦手意識が少しでもなくなり、心理的負担が軽減されれば嬉しいです。
入門演習	串田 紀代美	本授業に対し、みなさんが真剣に取り組んでくださったことが、アンケートのコメントからよく理解できました。「順序立ててレポートを書くことができるようになった」、「レポートの手順に加え、文章力が身についたと感じた」、「レポートの形式、引用方法などについて学び、実際にレポートを書くことで、レポートへの苦手意識が減り、自信がついた」、「公の場での言葉遣いの種類を知ることができた」、「取り扱うトピックや論文の題材なども興味深かった」など、さまざまな気づきを得たことが、教員にとっては一番嬉しく励みになります。 この授業を通して、文章を書くことに対して苦手意識が少しでもなくなり、心理的負担が軽減されれば嬉しいです。
美学演習 b	椎原 伸博	一年間ご苦労様でした。美学を第一希望とした人も、第二、第三希望とした人が混在しているなかで、いきなり自力で学修することに、最初は戸惑ったかもしれません。ある程度講義をしてから発表をして欲しかったという意見もあれば、自分で調べるからこそ楽しいです!調べて発表しますが、自力でやるからこそ、自然と知識が身につきます!同じクラスの人たちが発表する内容を聞くことも楽しいです!それぞれがわかりやすくまとめて発表するため、予想以上に学べましたという意見もあり、とても感慨深くコメントを読みました。 美学の事典の項目は、とても広くどこから学ぶのかは大変だったかと思いますが、一方美学の多様性を気づいてくれたのではと思っています。 あと、他の演習で何かに躓いた時に、砦にしたいとなると有名だったりと言うコメントには驚きました。今後も、心広く学生さんたちを迎え入れたいと思います。
美学特講 b	椎原 伸博	パブリックアートと空地の授業は体験型だったためか、印象深かったのかもかもしれません。美学という学問は、現実のなかに様々なテーマを発見することが出来ますので、今後の学習につなげられればと思います。
美学入門 b	椎原 伸博	回答率は少なかったのですが、例年よりも学修成果の実感コメントが多かったです。また、たった2回の対面授業でしたが、その時の授業で学修が深まったと思います。授業は、難しい問題が多いので、最初に要約あるいは、目標を示してほしいというコメントありがとうございます。今後の授業運営に役立てていきます。
仏教美術史演習 b	武笠 朗	回答者が2名というのは問題で、もっとアピールすべきであった。今期は履修者数が少なかったせいもあってか、より学生に近づけた気がしている。昨年度は私の個人的事情で実施できなかった見学旅行も、予定通り実施でき、学生の様子を把握できたし、学生間の親睦も深まった。ただ履修者が少ないのは根本的な問題で、入門や特講での授業方法に工夫を加えるべきと考えている。卒論ゼミ生は、卒論の内容をじっくりと考えておいてください。
仏教美術史特講 b	武笠 朗	まず回答数が少ないのが問題で、もっと学生に回答するようアピールすべきだった。講義主体の授業で、教員のその日の調子によりつい長くしゃべってしまったり、その逆だったり、シラバス通りに話が進まず、迷惑をかけたと感じている。ただ、大学での講義とはそういうもので、なぜ教員が熱を入れてしゃべったのか、その意味を感じ取って欲しいと考える。
仏教美術史入門 b	武笠 朗	今期もオンデマンドでの実施であったが、授業の脱落者が多く出てしまい、オンデマンドの問題が浮き彫りになったようである。いつでもできるようにというオンデの配慮が、逆に先送りにして溜め込んでしまうという負をもたらしたようである。オンデマンドを溜め込まないようにしよう。来年度からこの授業も対面に戻ります。まあとりあえず授業に来れば良いと言うこととなりますが、授業をしっかりと聴くことが大事です。授業時間内に片をつける事が、学生生活に余裕を持たせる秘訣です。

【2022（後期）美学美術史学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
民俗芸能演習 b	串田 紀代美	<p>半年間、真摯な態度で授業と課題に向き合ってください、ありがとうございました。みなさんの探求心と学習意欲が、教員にとって大変励みになり、刺激にもなりました。そして学生のみなさんの口頭発表のスキルが、短期間でこれほどまでにアップしたことは、大きな驚きでもありまた喜びでもありました。「授業は学生と教員がともに作り出すもの」とよく聞いていましたが、本授業はまさに学生と教員、そして学生同士の切磋琢磨が生み出した「協働学習」そのものだったと実感しています。みなさんのプレゼン・スキル向上は、みなさんの努力の結果です。自信をもって、今後さらなるスキルアップを目指してください。みなさんと出会えたことに、感謝したいと思います。</p>
民俗芸能特講 b	串田 紀代美	<p>半年間、授業に出席して下さったみなさん、授業アンケートにたくさんコメントを記入してくださいありがとうございました。本授業を通して、「ジャポニズムを美術以外の視点から理解することができた」、「西洋のジャポニズム演劇を通して、日本人や日本文化がどのように見られていたか知ることができ、様々な視点から考える力が身についた。」など、多くの気づきをみなさんが得て下さったことは、教員にとって一番嬉しく励みになります。</p> <p>みなさんが真摯に学習に取り組んで下さったことに、心からお礼を申し上げます。私自身、この授業でみなさんと会うのが毎回楽しみでした。これからも目標を高く持ち、興味を持ったことについて貪欲に学び続けてください。みなさんが、これからも芸術の良き理解者であり、積極的に文化に触れる機会を持つて下さることを期待しています。</p>
民俗芸能入門b	串田 紀代美	<p>半年間、授業に真剣に向き合ってください下さった方々、授業アンケートを提出してください下さった方々にまずはお礼を申し上げます。オンデマンド型授業は、一方的に動画を視聴する形態や毎回の小テスト課題の提出に慣れておらず、戸惑った方々も多かったかと思います。それでもあきらめずに課題を提出し、授業動画を視聴し続けた学生のみなさんが多かったことに感謝しています。</p> <p>民俗芸能は、みなさんにとって馴染みが薄く、社会にとってそれほど重要性がないかもしれません。しかし、美術史を深く学んでいく際に「文化財」という点でも関連が深い隣接分野です。美術作品の成立背景を考える時、あるいは歌舞音曲の場面を表現している美術作品に出会った時、民俗的な身体文化のことを少しだけ思い出していただければと思います。</p>